(第3種郵便物認可

はいけない。国は全国百十の主要活断層で地震発生確率を調べているが、今後三十年以内に大地震が

活断層による内陸直下型地震の怖さも忘れて

別に図示した防災地図を

活断層の場所などを地区

険地帯。中部で内陸直下型地

中部圏は活断層が集まる危

加木屋断層帯(同確率は〇・る」という。知多半島を走る

なく、全く白紙の状態だ。

1%)については震度分布も

二〇〇五一〇六年度に、

東海、東南海地震などの海溝型地震が心配される中、

造線」だ。自治体も対策を急いでいるが住民の防災意識はまだまだ低いようだ。(社会部・赤川肇) 起きる確率が14%(百年以内では40%)とダントツなのが、長野県内を南北に走る「糸魚川―静岡構

http://www.chunichi.co.jp/earthquake/

日は東海地震特集

静岡構造線 30年以内

しの構造線はいく

市を走る牛伏寺断層を含け、長野県松本の活断層から成り、国は

新潟県

糸魚川-

静岡構造線

小淵沢

◎甲府 山梨県

う長野県は「県全体が断

試算した。

高浜市や西尾市、

県は、この二カ所も含めた県

一震源が対象となった三重

千二百人などと予測した。

ぐ

最大で県内の死者は約1

活断層帯がひしめき合

つ」とみている。 え合いは災害でも役立

耐震診断無料化も検討

岐阜

〇二、〇三年度に震度分布を の二震源が対象となった三番震の被害予測を実施した二〇 部(同確率は〇・〇〇1%)

糸魚川

o<mark></mark>白馬

塩尻(

長野県

町村ごとに温度差も大き

自主防災組織の組織

下型地震への備えには市

内陸直下型地震

なると予想した。

碧南市などで最大震度6強に 内十四カ所の活断層の被害想

災行動計画(五年間)」にはこ

昨年度策定した「県地震防

いる。「すでに内陸型にも力定調査を昨年三月にまとめて

松本 岡谷 茅野

危機管理局)。だが、 層に乗っているよう」(県

る可能性が高いと発表し M8程度の地震が発生す む区間で、数百年以内に

日本海

富山県

岐阜県

化地域に指定されている率は、東海地震の対策強

対策はとっていない」として

ムを作成しており、大きく対

所で実施。今年三月には 内陸直下型が想定される三カ 訓練の開催場所もこの一年、 れらの予測を反映させ、

を入れたアクションプログラ

策を見直すことは考えていな

建物倒壊以外の被害想定 「本年度中に国から人

い」と冷静に受け止める。

猿投一高浜に限った特別な しかし防災危機管理課は

松本市は昨年、地元医

年間五杉程度だから、

はと カー「ナホトカ号」が県 に欠かせない存在に成長 設立のきっかけは一九

内の坂井市沖で座礁した

九七年、ロシア船籍タン に突き動かした。 ィアが数多くいても、計一人だ。志を持つボランティーの養成から取り組

程む自主防災組織のリーダーたち=福井県越前市で

電ボランティアネットが企画した研修に

ボランティアの

整理」を担うコーディネ ボランティアの「交通

近 だったのが、今年十月末 司 率は、福井豪雨時に32% 一 7 める自主防災組織の組織 上に活動の軸足を移して 福井市で全自治会に占

局何をするかが白紙の場 域に組織ができても、結 という。松森さんは「地 合が多い。 部・渥美龍太) しでも役に立ちたい

い」と思いを新たにした。

(北陸本社報道部・高橋雅

るボランティアが増えてほ

測プロジェクトに参加する名古屋大環境学研究科 付属地震火山・防災研究センターの鷺谷威准教授 に聞いた。「大地震がいつ起きてもおかしくない。 考えられる限りの準備が必要」と呼びかけた。

谷威名古屋大准教授に聞く

間で年間一号縮んでいる。 だ間で年間一号縮んでいる。 だれて横切る形で地殻の短縮度 れた横切る形で地殻の短縮度 れた までの約千㌔を見た場合は 東北地方太平洋岸から九州



鷺谷威准教授 は少ない ギーを広い範囲でため込ん ないとM8にはならない。れ運動が起きておりエネル *。もっと広く断層が延びれ運動が起きておりエネル *。もっと広く断層が延び一方、牛伏寺断層が走る に割れるかで決まるが、牛一方、牛伏寺断層が走る に割れるかで決まるが、牛

短縮 けの準備はある。

でいる。大地震が起きるだ 牛伏寺断層を含むこの区間 牛伏寺断層を含む白馬か 年に一度の割合で起きてき

ではM8級の大地震が約千 寒

(聞き手は社会部・広瀬和

ギーをため込んでいる部分 分かっている。マグニチュしずつずれており、エネル の地震が起きていることがる。ただ、北部は断層が少 間で約千二百年前にM8級 の度合いの大きさが分か ら小淵沢までの約百歳の区 ードは断層がどこまで一気 き、牛伏寺断層で地震がい -た。だから規模に12で末 z 断層と考えるか難しく、 で、どこまでをひと続きの 断層、中部は横ずれ断層 つ起きてもおかしくない 糸静線は北部と南部が逆

加わりなど情報を収集して きると思って準備した方が えられるいろんなことが起 いる最中だ。現時点では考 在断層や摩擦の分布、力の 現 に発生した地震を例に の新潟県中越地震など活 だけでなく、 断層の存在が指摘されず 授(地震学)は、〇四年 想定も万能ではない。 州大理学部の塚原弘昭教 「分かっている活断層帯

す。はできない」とくぎを刺 上や周囲でも決して安心 その延長線 「怖い内陸直下型」 定救護所に駆けつけるほ、大日向栄一課長三百人が市内二十一の指が浮かんだ。市三百人が市内二十一の指が浮かんだ。市時に、医師や看護師ら約 置場所など複数一た。震度5弱以上の強震、災訓練では、数 か、あらかじめ各救護所

災害時医療救護活動マニ 師会の発案で、市独自の

ュアル

(手引書)を作っ

行った今年九月の総合防

南信地方で九割を超える

方、県平均では10浮以

救護所の設

千万円を投じて〇二年に 上も下回る。県も一億二

回は実戦訓練を積んで精

定をまとめたほかは、他 直下型地震などの被災想

そ の 63

可能な限りの準備を

示している。 市にとって最大の課題に備蓄する医療資機材を 度を高めたい」と話す。 手引書を使って初めて

は市民意識の高まりだ。 市にとって最大の課題 震対策は見当たらない。 の都道府県に先行した地

風水害対策は橋の強 重点を置く現状をこう説 断層研究に基づき被害想 定を見直す構想もあると 明する。今後、最新の活 ただ、活断層図や被害 時期は未定だ。

論に必要な素材集めや司会を やすくなるか」と考えた。

川や街並みの整備、行政と

がら「どうすれば誰もが話し

松田さんは悩みを抱えな

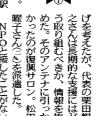
も出る。

県危機管理防災課の土村 やってもらうかが大事」。 正和課長補佐は、啓発に

地震対策は県民にいかに化などで対応できるが、

それを待って対応す 能登半島 ただ、 国の被害想定は死者

石川県穴水町では、地震で駅 能登半島地震から八カ月。 ▶७◀ 商店主らは松田さんを警戒し 曜子さん(三き)を派遣した。 NPOと接したことがない



かったのが復興サロン。松田めた。そのアンテナに引っか う取り組むべきか、情報を集 之さんは長期的な支援にはど げを考えたが、代表の栗田暢

晴・防災まちづくり担当 定。総合防災課の忠地基 とした「防災と福祉のま 課長は「普段の地域の支 けの啓発講座を始め、 ちづくり」を推し進めて の認知度は六割程度にと 全世帯に配ったが、 いる。十二月から市民向 しまる。このため市は現 自主防災組織を中心 地図 東海3県の対策 県内14ヵ所調査終える 三重国の被害想定待ち対応 愛知

長野県松本市内を走る牛伏寺断層 (矢印) =同市の中山丘陵上空で

在

率はほぼ0%)が引き起こす 帯(今後三十年の地震発生確 国がまとめたばかりだ。 市にかけての猿投―高浜断層 **育が出るとの試算を十一月に** 心に最大で一万人を超える死 農が起きた場合、 愛知県を中 愛知県は、豊田市から西尾

れから」と話した。 両断層についてはまだ分か 同課の安藤康広主任主査は

地震について東海、東南海地 %)と布引山地東縁断層帯東 らないことも多く、対策はこ (同確率はほぼ0%-0・6 養老—桑名—四日市断層帯

二〇〇四年度に県内の四つの

着目して施策を進めてきた。 なく内陸型の直下型地震にも 較、検討したい」としている。 の詳細な資料をもらって比 ぐらい違う。内閣府に市町別 岐阜県では東海地震だけで 想定が震度1

室は「活断層が滑るとみられ

違いが見られる。県地震対策数などで一けた大きく、食い

© 中日新聞社 無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています。

すぐそばの関ケ原断層でも同 ついてもシミュレーション。 養老―桑名―四日市断層帯に

時に地震が発生したとの想定

事長の松森和人さん(ஜூ) に、最近は地域での研修 ランティアが大きな助け ウを蓄積した。 が設立して約七年。 会に力を入れている。 アを送り出すコーディネ - 夕ー養成を担うととも 被災現場にボランティ 、福井県内の防災活動・二人三脚の活動を続 効率よく人 理 災の経験を積む神戸のボ 油の回収作業に阪神大震 重油流出事故だった。重

かなったが、また福井で 松森さんは「神戸の方に になった。現地入りした い海を見ながら危機感に 大災害があったら」と黒 来てもらえたからどうに

るといわれるボランティ に進み、通常三日はかか れた。手続きがスムーズ の福井豪雨の際に発揮さ

上開いている。

成果は二〇〇四年七月

での研修会を週1

での研修会を週二回程トは福井市をはじめ地域

度

立ち上げた。 アセンターを被災翌日に

さいなまれたという。こ

の思いが自らを団体設立

を受けた地域の防災力向

最近では、行政の委託 の薄さは今も変わらない

で寝るといった「自らを えても平気でたんすの横 守る」ことに対する認識 非常用の食料や水を備 今年だけでも百回以 **ん⊗と七海さん=石川県穴水町で商店街の復興について話す、加藤さ**

うと、名古屋市の救援ボラン うち約半数が全半壊した。こ 商店街。地震では約七十軒の ともに頑張っていた。 ティアが地元の商店主たちと買って出た。 つりぽつり。そこでは、長期 け、今でも開いている店はぼ前商店街が大きな打撃を受 にわたって被災地を支援しよ 穴水駅前から約八百 が続く 商店街の復興 今でも開いている店はぼ

そのころ、五月の連休には共有していた。 ボランティア活動も一段落し仮設住宅への入居も終わり、 初旬に立ち上げたのが「復興る。話題は商店街の現状分析 る機会はない」。その思いを サロン」。「今を逃せば頑張 この商店主ら約三十人が六月

興サロンで出た意見は、

街並み整備計画にも盛り込ま

から未来像へと発展した。

県の復

サロンの発足当初を振り返

(図記は「どこから手をつけて

いか分からなかった」と、

心メンバーの七海友也さん

震でよりはっきりとした。 前から抱えていた問題が、 の関係…。穴水の商店街が以

NPO法人「レスキュースト 現地入りしていた名古屋市の ていた。三月の発生直後から ックヤード」も一度は引き上 る」から「自分たちがやる」 れた。 役場が何とかしてくれ

場に人を送り込むノウハ る中、ボランティアネッ連絡を取り、効率的に現 た。中身の充実が急がれ

乱しがちだ。行政と密に には93%にまで急上昇し

へを現場に

へ住民の意識は変わった。 より活気ある街に。川をきれ や空き店舗をなくし、震災前 の加藤真さん(雪)は「空き地 ム。復興サロン世話人会代表 十一月三日のシンポジウ

と行動計画を発表した。 る」と十年後に目指す街の姿 が観光案内を含めて、その商 ようにする。商店主一人 いにし、ほとりでくつろげる きを片付けた後のことも考え 売分野のエキスパートにな そして、 松田さんも

震改修促進計画」を策定して おり、来年度から耐震診断の

無料化を目指す動きもある。

の被害想定調査をしており、 主要断層で地震が発生した際